



Mikako Akutani / Naomi Itaya / Charmaine Recina

将来まで役立つ 本物の英語力を

いよいよ2020年より、小学校でも英語が教科化され、大学入試も聞く・話す・読む・書くの4技能の力を問う方向に大改革が図られるなど、子ども達にとってもはや英語の習得は必須条件となっている。子ども達が楽しみにしながら、将来的にも役立つ本格的な英語力が身につけられる英会話学校として、いま話題を集めているのがCOCO塾ジュニア。チャーマイン・レシナ先生、鮎谷美賀子先生は岡山市北区本町にある岡山校のインストラクターとして、板谷直美先生は倉敷市の堀南ジュニア教室のホームインストラクターとして、多くの子ども達の指導にあたり活躍している。



● 何より子どもも英語が好きだから

インストラクターになったきっかけを質問すると、鮎谷先生は「私自身、小学校高学年から英語を習って英語が大好きになったので、その魅力を子ども達にも伝えたいからです」。チャーマイン先生は「母国を出て日本で働くことが夢でした、日本の子ども達とのふれあいに魅力を感じたからです」と話す。また板谷先生は「大学では英語を学びましたが、ふと、ほとんども忘れていくことに気が付き、まずは自分の英語力

COCO塾ジュニア
インストラクター

チャーマイン・レシナ先生

板谷直美先生

鮎谷美賀子先生

jrcoco@kuu.jp

を取りもどして、さらにレベルアップするために「教えることに挑戦したんです」と経緯を語る。きっかけはさまざまですが、その表情からは「等しく「英語」そして子どもが好きな」という想いが伝わる。

● 子ども達の成長に携われる喜び

インストラクターという職業は、子ども達の成長していく姿が間近で見られるのが魅力という。板谷先生は「ある生徒が英検準2級に受かったとき」「教えてくれたありがとう」と英語で言ってもらえ、目頭が熱くなりました」と自身の体験を話す。またチャーマイン先生は「外国人の私が日本の国際化やそれを担う子ども達の成長に貢献できるのは、大きな喜びです」と目を輝かせる。

● 英語教育の、その先にあるものを

COCO塾ジュニアの英語教育は、CLILやアクティブラーニングなど、世界の主流となっている先進的な教授法を導入し、子ども達のコミュニケーション能力を高めている。また単に「英語を学ぶ」のではなく、「英語を学ぶ、その上で何ができるか」を根幹に、中学卒業後もCOCO塾での生涯学習の場や、系列企業による留学サポートなどを提供する。

現在岡山県内には岡山校を拠点にサテライト校・ホームインストラクター教室あわせて6教室を展開し、今後も続々と教室を開設予定という。無料体験レッスンも随時実施しているので、「我が子に本物志向の英語教育をしなす方」はぜひ一度問い合わせを。